



引用:1(上2枚)



未熟の果実。

区別のポイント

山地の日陰に生える。下部は木質、葉は円形で先は急に尖る。葉を切ると白い乳液が出る。

アサギマダラの食草。

形態 常緑のつる植物

分布 本州（関東地方以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 果実は長さ約 10 cm の楕円形で、熟すと割れて銀毛を持つ種子を飛ばす。銀毛を鬼女の髪に喩えた。

葉 〈全体〉円形で上面は光沢がある。直径は 7 ～ 14 cm。

〈付き方〉対生。

〈葉柄〉3 ～ 6 cm。

〈基部〉心形。

〈葉先〉急に尖る。

〈縁〉全縁。

備考 有毒：オレアンドリンという配糖体。アサギマダラが食草にしたのは、天敵対策のの工夫か。

出典 1, 4, ※